

取締役頭取
大道 良夫



第5次長期経営計画スタート

For the Future with You

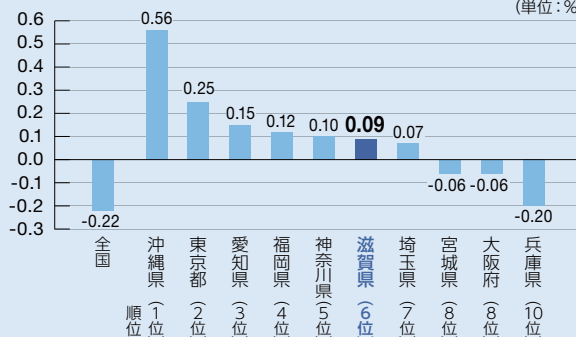
～お客さまと地域の
持続可能な成長のために～

平成24年度を振り返って

平成24年度の日本経済を振り返りますと、年度前半は、東日本大震災からの復興需要や政策効果等により回復の動きが見られましたが、世界経済の減速等を背景に景気は弱い動きとなりました。年度後半は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和による期待感から、株価とマインド面の改善が見られましたが、円安による原材料の高騰や海外経済の不確実性から実体経済への波及は一部に留まっており、経済の再生・力強い復活が望まれます。

都道府県別 人口増減率(平成24年10月1日現在)

出所：平成24年人口推計／総務省
(単位：%)



$$\text{人口増減率 (\%)} = \frac{\text{人口増減(前年10月～当年9月)}}{\text{前年10月1日現在人口}} \times 100$$

このような景況下、平成25年3月期の当行業績につきましては、預金の期中平均残高は、4兆1,145億円(前期比639億円増加)、貸出金の期中平均残高は2兆7,525億円(前期比360億円増加)とそれぞれ順調に増加しました。一方、平成25年3月期決算から新たな自己資本比率規制「バーゼルⅢ」が段階的に適用開始となりましたが、連結総自己資本比率は14.14%、Tier1比率、普通株式等Tier1比率はともに9.44%と、最低所要比率(連結総自己資本比率8.0%、Tier1比率4.5%、普通株式等Tier1比率3.5%以上)を大きくクリアしており、当行は引き続き高い健全性を維持しています。

滋賀県のマーケット

当行の主要営業基盤であります滋賀県は、地理的に日本の中心に位置するとともに、近畿・東海を結ぶ交通アクセスにも恵まれていることから、大手製造業の生産工場が多く進出しています。また、有数の人口増加県であり、出生率、年少人口割合はともに全国2位^{※1}と、今後も高い成長が見込まれています。

このような優位性に加え、歴史・文化・自然環境を兼ね備えた地域特性と政府による「成長戦略」により、ニュービジネス創造や雇用創出による、お客さま・地域社会の発展・振興に努めてまいります。

※1 出生率(平成24年人口動態統計/厚生労働省)
年少人口割合(平成24年人口推計/総務省)

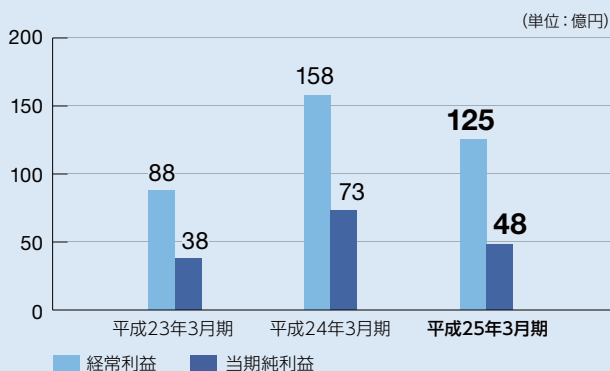
第5次長期経営計画に込めた“決意”

当行は平成25年4月1日、地域社会への更なる貢献を目指し、第5次長期経営計画をスタートさせました。名称を「For the Future with You」、サブタイトルを「お客さまと地域の持続可能な成長のために」としました。「For the Future」には、現状を打破し、明るい未来を切り拓くという「未来志向」、そして「with You」にはお客さまや地域社会、当行グループ役職員、更には地球環境とともに持続可能な成長に向け進んでいく、との強い決意を込めています。また、今後10年間の目指すべきビジョンを「お客さま・地域とともに未来へ歩む銀行」とし、その第一ステージとして、すべての業務を「お客さま起点」で見直すとともに、「お客さま満足度向上への意識改革・行動改革」に取り組んでいます。

具体的には、5月7日、融資業務フローの見直しと標準化、本部集中化、システム化を図る新システム「SUCCESS」^{※2}を稼働させました。最大の目的は、融資に関する事務手続きや処理時間を極力削減して、お客さまとの接点や面談時間を増やし、経営に関するご相談や課題解決に向けた提案を行うなど、お客さまに付加価値の高い金融サービスをご提供することで、より強固な信頼関係を築くことにあります。

「銀行経営も、その根本は『人』と『人』である」が私の信念です。この考えを徹底し、全役職員が自己研鑽に励み、「誠意(徹底的にお客さまのことを思う気持ち)」・「創意

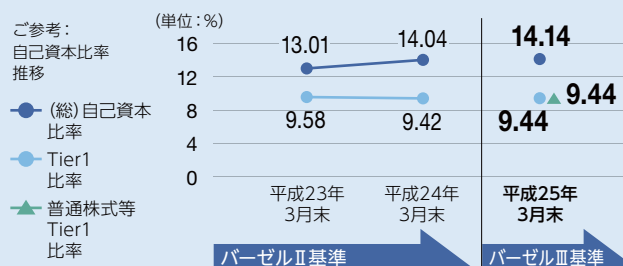
経常利益・当期純利益の推移



自己資本比率(連結)(平成25年3月末)

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	14.14%	8.0%以上
同 Tier1比率	9.44%	4.5%以上
同 普通株式等Tier1比率	9.44%	3.5%以上

※平成25年3月末より、バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。



(鋭敏な感性と豊かな発想)・「熱意(全身全霊をかける強い意志)」をもって、お客さま・地域との「共存共栄」を実現してまいります。

※2 [SUCCESS] SHIGAGIN Utility Customers Communication Excellent Support Systemの略

第5次長期経営計画での「3つの基本戦略」

第5次長期経営計画では「3つの基本戦略」を立てました。第1に「お客さまに合ったソリューションの提供」として、これまで進めてきた「3つのブランド戦略」を深化させます。第2に「地域経済への更なる貢献」としてニュービジネスや成長産業分野へのサポートと地域ブランドの普及・創出への取り組みを強化します。第3に「強靱な経営基盤の構築」として「人財」の育成・活用や内部管理体制の強化に取り組みます。

地域経済の活性化に取り組む

「3つの基本戦略」で注力いたしますのは、地域経済の活性化です。10年後、20年後を見据えた銀行経営を通じて、「地域の発展は私たちの手で」との気概で、地域経済の持続可能な成長を目指してまいります。

4月1日、営業統轄部に「地域振興室」を新設しました。地元へ根ざす銀行として、地域振興を、との願いを込めて設置したもので、成長が期待される「環境」、「医

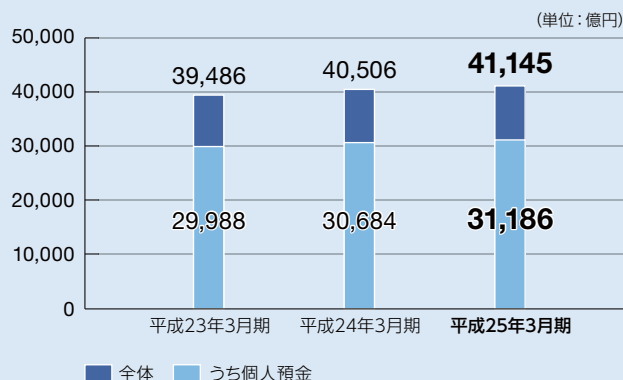
療・健康」、「農業」、「観光業」の各分野について、行政やまちづくり会社、商工団体、NPO法人などと連携し、ニュービジネスへのサポートや第二創業、地域ブランドの普及・創出に注力いたします。

成長著しい中国やASEAN諸国は、世界の「工場」から「巨大マーケット」へと大きく変貌しつつあります。発展著しいアジア諸国へ優れた商品やサービスを販売し、アジアの「成長」を取り込みたいとされるお取引先が増えています。近畿地銀で唯一の海外支店である香港支店と上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所、本部アジアデスクを結ぶ海外ネットワークを活用して、お取引先の海外ビジネスをサポートするとともに、お取引先の業績向上、そして湖国を中心とする地域経済全体の活性化を図ってまいります。

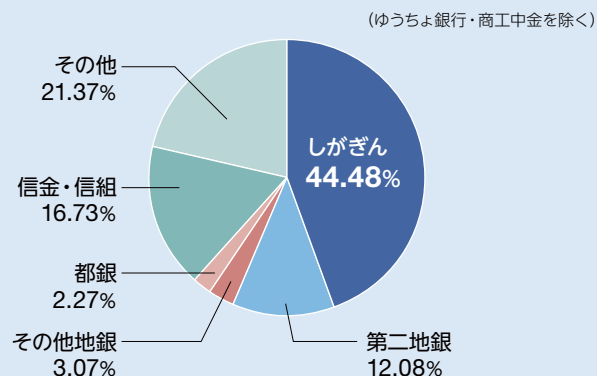
CSR活動を更に深化

地球温暖化防止、生物多様性保全は、今や“待ったなし”の課題です。当行は、環境と経済の両立を図る「環境経営」の考えのもと、営業活動に伴う紙・ゴミ、電気の削減や環境対応型の店舗づくりによる温室効果ガス排出量の削減など、多様な省資源・省エネルギー活動を展開しています。また、「お金の流れで地球環境を守る」との気概をもって、環境対応型金融商品・サービスの開発を進める「環境金融」に取り組むとともに、ヨシ刈り・外来魚駆除・森づくりサポートなどのボラン

預金等(譲渡性預金含む)期中平均残高



預金残高「滋賀県内シェア」(平成24年9月末現在)



ティア活動も展開中です。

当行は、「環境」「福祉」「文化」をCSRの3本柱として、「CSR憲章(経営理念)」に掲げる「共存共栄」の実現に向けて多面的な活動を展開しています。お客さまと手を携えて未来を目指す活動として、CSR活動の更なる深化に取り組んでまいります。

創立80周年 ~お客さま・地域とともに未来へ~

当行は、平成25年10月1日、「創立80周年」を迎えます。昭和8年10月1日、当時の県内2大銀行だった「百州三銀行」と「八幡銀行」が合併して滋賀銀行が誕生し、以来、お客さまの長年のご信頼とご愛顧により、現在の滋

賀銀行に育てていただきました。地域社会と歩みをともにする当行は、地域の成長なくしてその成長はありません。

今後とも、「お客さま・地域社会とともに未来へ歩む銀行」として、地域経済の発展と持続可能な社会づくりに全力で取り組んでまいります。

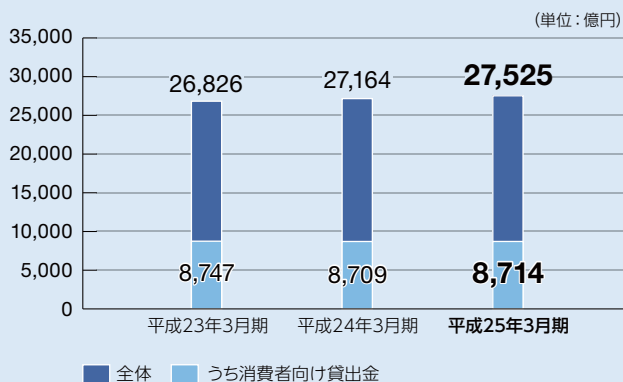
これまでも。
これからも。



成長

大道良夫

貸出金 期中平均残高



貸出金残高「滋賀県内シェア」(平成24年9月末現在)

